



株式会社インフォマート 会社説明会



 **Info Mart Corporation**

東証マザーズ(2492)

2014年3月29日

1. インフォマートについて … P 1
2. 経営方針・業績等の推移 … P15
3. 株主様への還元 … P20

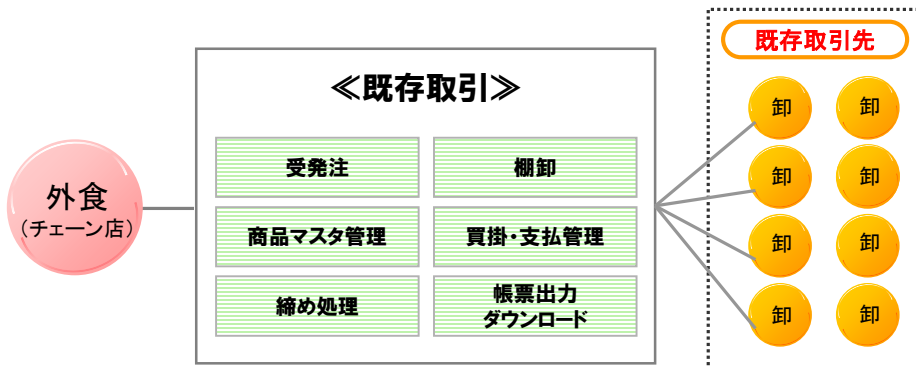
インフォーマートについて

株式会社インフォーマート (Infomart Corporation) 東京証券取引所マザーズ市場 (上場日:平成18年8月8日) 証券コード 2492

- 事業内容 フード業界企業間電子商取引プラットフォーム
 「フーズインフォーマート(FOODS Info Mart)」の運営
- 本社所在地 東京都港区芝大門1-16-3 芝大門116ビル
- 営業所 西日本営業所(大阪市淀川区西中島)
 カスタマーセンター(福岡市中央区天神)
- 設立 1998年(平成10年)2月13日
- 資本金 10億2,902万円 (2013年12月末現在)
- 従業員数 276名(正社員223／派遣53) (2013年12月末現在)

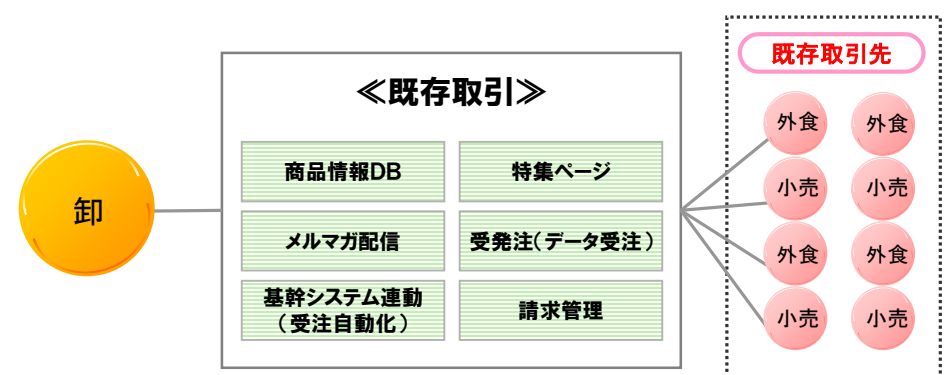
ASP 受発注システム

(外食チェーンと卸の受発注)



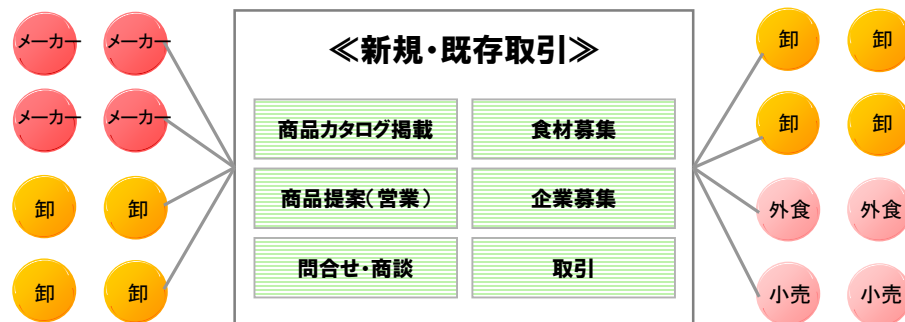
ASP 受注・営業システム

(卸企業と外食店舗との営業と受注)



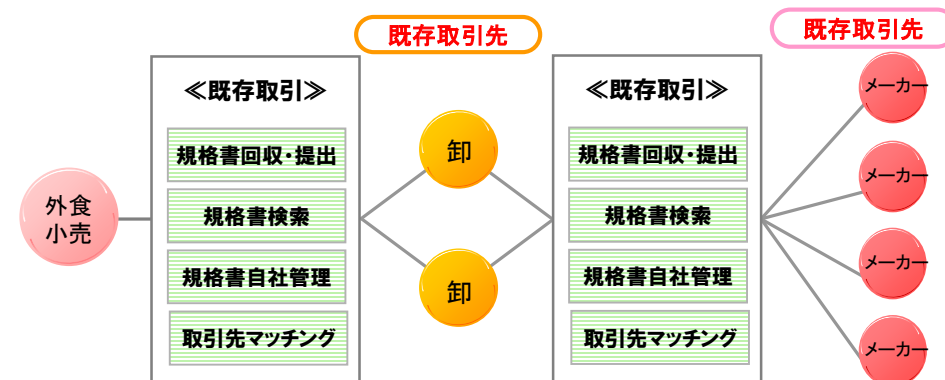
ASP 商談システム

(新しい取引の場合)



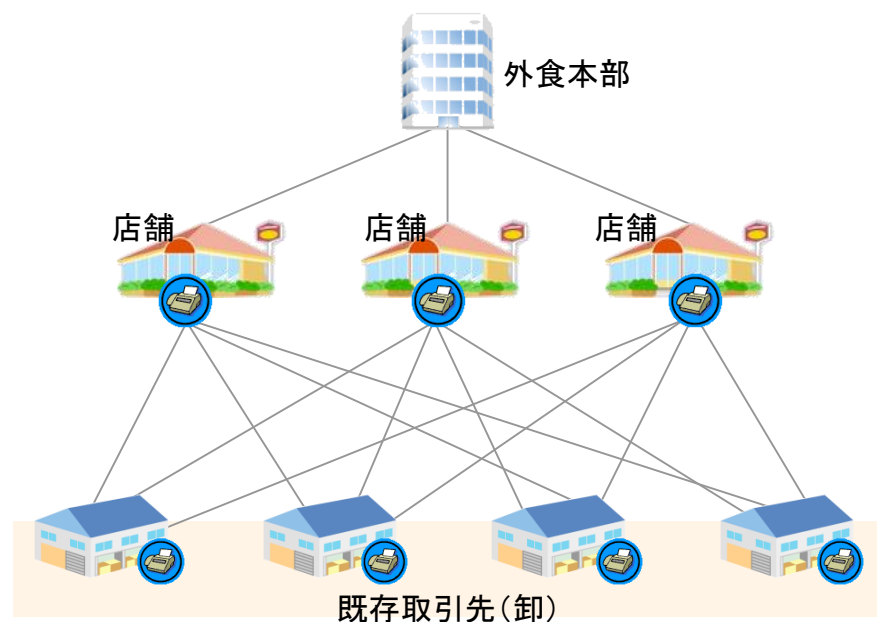
ASP 規格書システム

(食の安全・安心の商品仕様書DB)

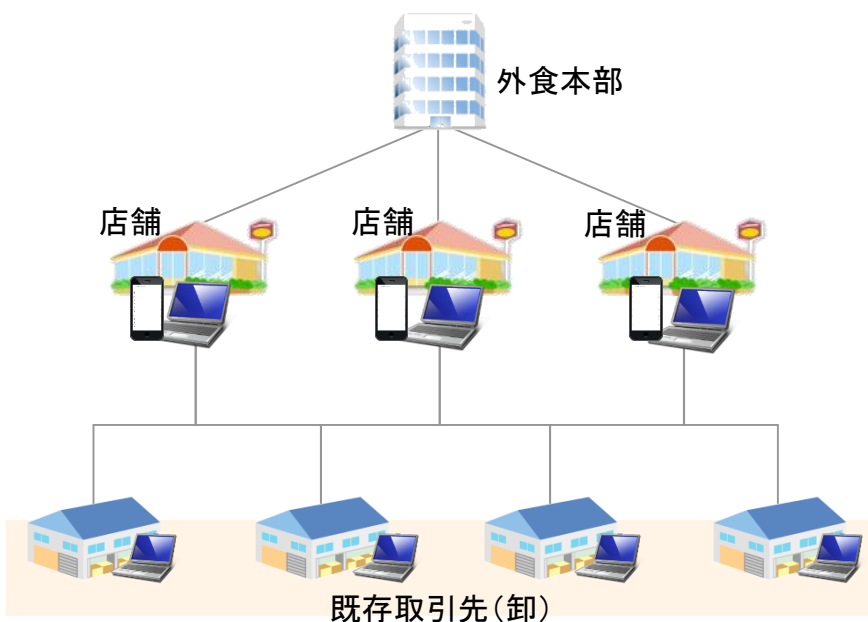


～ 現在、取引している取引先との受発注を効率化(電話・FAXからオンライン化)～

■ システム導入前



■ システム導入後



受発注～請求までがワンストップで完結！ 業務改善・コスト削減を実現します！

《外食企業メリット》

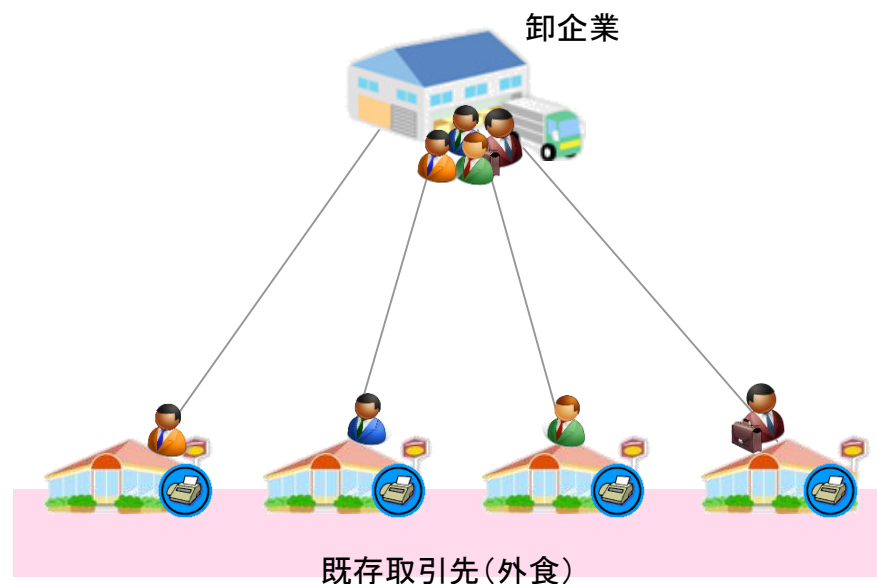
煩雑な発注業務がスリム化！
購買管理・店舗管理・請求管理が徹底して行えます！

《卸企業メリット》

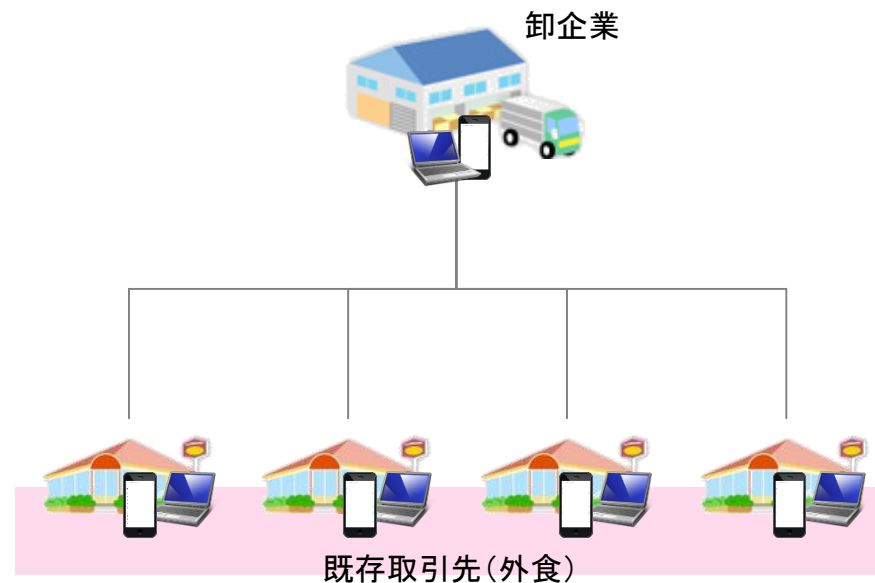
データ受注化により、受注・請求業務が効率化。
取引先と繋がれば繋がるほどコスト削減が拡大します！

～**現在、取引している取引先**への販促強化と受発注を効率化(営業と受注のオンライン化)～

■システム導入前



■システム導入後



受発注～請求までがワンストップで完結！ 売上拡大・業務改善を実現します！

《卸企業メリット》

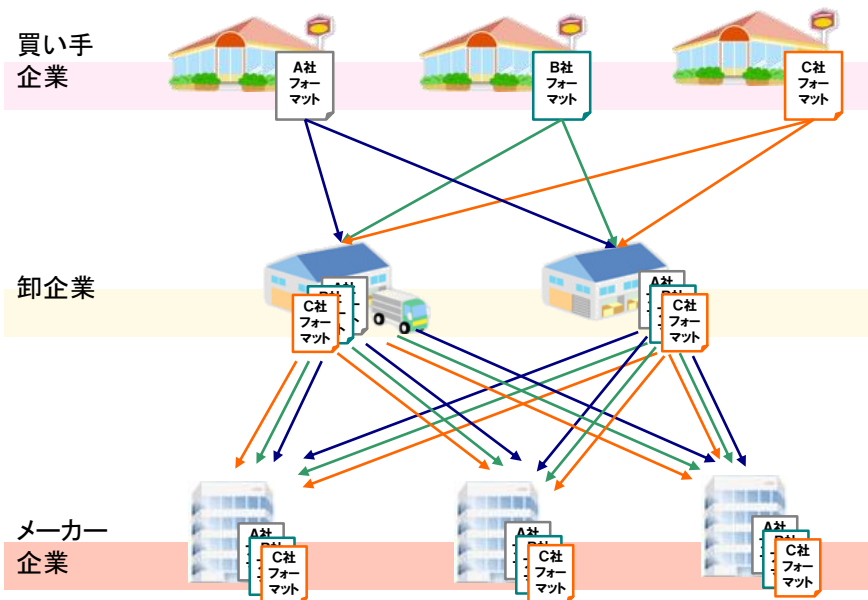
取引先の囲い込みで売上拡大が実現！データ受注による業務改善で時短・コスト削減が可能になります。

《外食企業メリット》

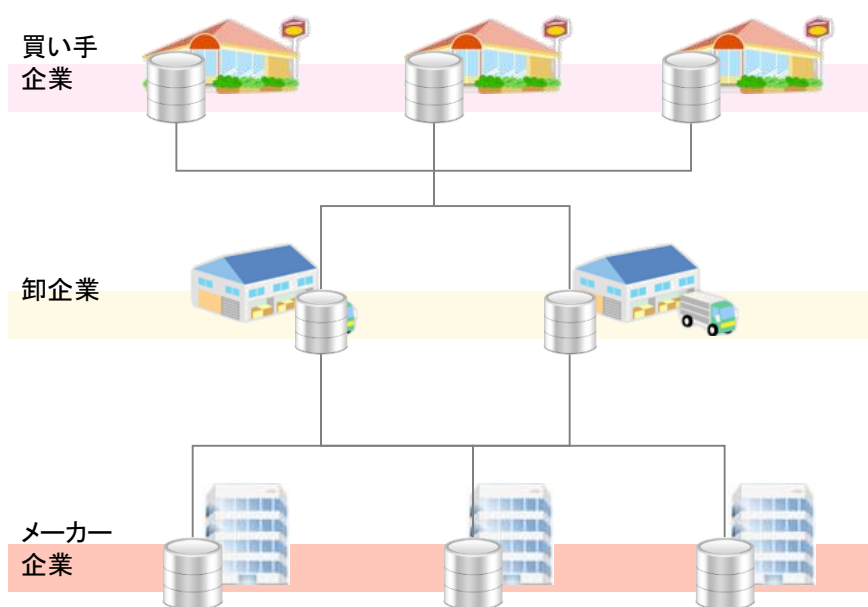
24時間いつでも取引先の商品を写真付で検索して発注可能！スマホでも発注できるから発注効率もアップ！

～ **現在、取引している取引先**との商品規格書の提出・取得の効率化(紙からオンライン化) ～

■ **システム導入前**



■ **システム導入後**



規格書の作成・提出・取得・自社管理までを仕組み化。規格書関連業務を飛躍的に軽減！

《 **買い手企業メリット** 》

購買商品規格書のデータベース化で、スピーディーな消費者対応、食の安全管理体制の構築が実現します。

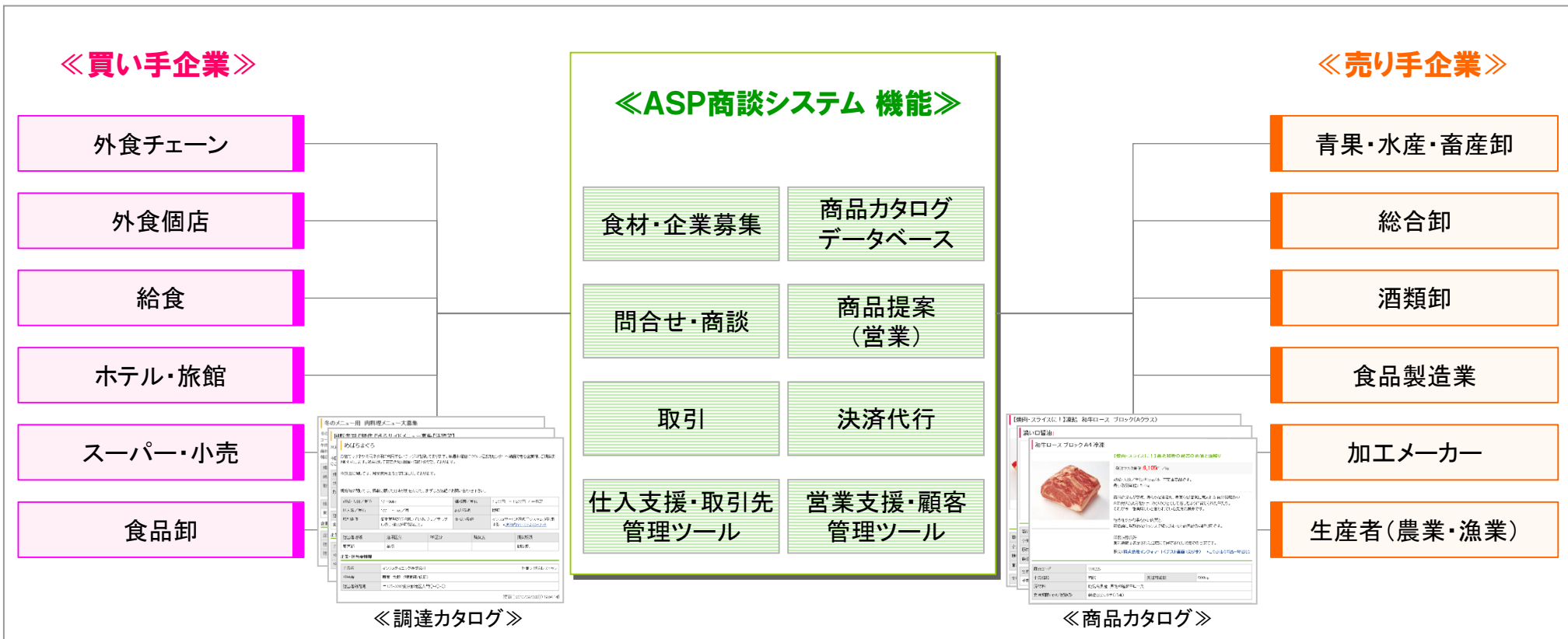
《 **卸企業メリット** 》

自社商品規格書のデータベース化により、取引先への規格書提出依頼に即日対応が可能になります。

《 **メーカー企業メリット** 》

社内情報共有、取引先への活用ができる自社商品規格書データベースが構築ができます！

～新しい取引の場。仕入強化と売上アップを実現(リアルからオンライン化)～



検索～商談～取引までがワンストップで完結！ 新規取引先の発掘を実現！

《買い手企業メリット》

**今居る場所から、全国の食品・食材の仕入れが可能！
仕入れの幅が広がり、購買強化を実現できます。**

《売り手企業メリット》

効率的な営業活動・販促活動で、売上・販路・取引先数の拡大が実現します。

月々のシステム使用料が主な収益です

システム名	月額システム使用料（金額：税別）
ASP受発注システム	買い手企業 本部：18,000円、店舗：1,300円 ※初期費用 300,000円～1,000,000円（店舗数に応じて） 売り手企業 月額制・従量制を選択 定額制 28,000円、1ID追加：800円 従量制 月間取引金額の1.1%（10万未満無料）
ASP受注・営業システム	売り手企業 従量制（①+②+③の合計金額） ①月間取引金額 1,000万円までの金額 ……3.0% ②月間取引金額 1,000万円を超える金額 ……0.5% ③月間取引金額 1億円を超える金額 ……0.1% ※初期費用 300,000円
ASP規格書システム	買い手機能 30,000円 ※初期費用 300,000円～ 卸機能 25,000円 ※初期費用 50,000円～ メーカー機能 月額制・従量制を選択 定額制 25,000円 従量制 1,000円～15,000円
ASP商談システム	買い手企業 5,000円 売り手企業 25,000円 （オプションサービス） ・決済代行システム（売り手企業手数料：取引金額の5%） ・アウトレットマート（売り手企業手数料：取引金額の10%）

1 ASPシステムによる“低価格” サービス

ASP（クラウド）型システムで、
広く多くの企業様が同じ画面で使えるシステムを提供

2 スtock型ビジネスモデル

月々のシステム使用料が主な収益であるため、
安定した積み上げ型の収益モデルを構築

3 顧客維持率の高さ

顧客企業の日常業務、取引先との商取引に
組み込まれている必要不可欠なシステムを提供

〔2013年12月末 現在〕

《FOODS Info Mart 全利用事業所数》

142,677 事業所 &

〔34,202社 + 105,615店舗 + 2,860ヶ所〕
全体利用企業数 外食利用店舗数 支店・営業所数

《2013年 年間取引高》

8,618 億円

〔8,254億円 + 363億円〕
受発注システム 受注・営業システム

ASP 受発注システム

- 買い手企業：1,265社・27,013店舗
- 売り手企業：24,046社
- 2013年度年間取引高：8,254億円

ASP 受注・営業システム

- 稼動卸企業：159社
- 買い手登録店舗：78,602店舗
- 2013年度年間取引高：363億円

ASP 商談システム

- 買い手企業：6,753社
- 売り手企業：2,159社
- 商品カタログ掲載数：446,615品

ASP 規格書システム

- 買い手機能：226社
- 卸機能：291社
- メーカー機能：4,964社
- 商品規格書掲載数：674,995アイテム

■インフォマートのフード業界市場シェア

■〔外食産業の市場規模〕

外食産業市場規模(2012年)	23兆2,386億円
仕入金額(市場規模の30%を前提に算出)	6兆9,715億円

※外食産業市場規模は外食産業総合調査研究センターのデータより引用

当社システム取引高
(2013年実績)

8,618億円
(全体の12.4%)

■〔フード業界の事業所数〕

区分	事業所数
メーカー・製造業等	59,458 事業所
問屋・食品卸	73,004 事業所
外食・給食・ホテル等	766,615 事業所
スーパー・小売等	355,461 事業所
合 計	1,254,538 事業所

当社システム利用

142,677事業所
(全体の11.4%)

※総務省「平成24年経済センサスー活動調査」(2013年8月27日公表)

市場規模とEC化率及び、各社の取引高

市場規模とEC化率

BtoC(企業・消費者間電子商取引)	EC化率 3.1%で、現在9.5兆円の市場規模
BtoB(企業間電子商取引)	EC化率17.5%で、現在178兆円の市場規模

※経済産業省「平成24年度我が国情報経済社会における基盤整備(電子商取引に関する市場調査)」(2013年9月27日公表)

各社の取引高

		会社名	年間取引高
B to C (企業・消費者間 電子商取引)	1 対 多	アマゾン	7,300億円 (2012/12)
		ゾゾタウン	958億円 (2013 /3) ※1
	多 対 多	楽天	1兆4,446億円 (2012/12) ※2
		ヤフー	1兆6,033億円 (2013/3) ※3
B to B (企業間電子商取引)	1 対 多	アスクル	2,266億円 (2013/5)
		モノタロウ	287億円 (2012/12)
	多 対 多	インフォマート	8,618億円 (2013/12)

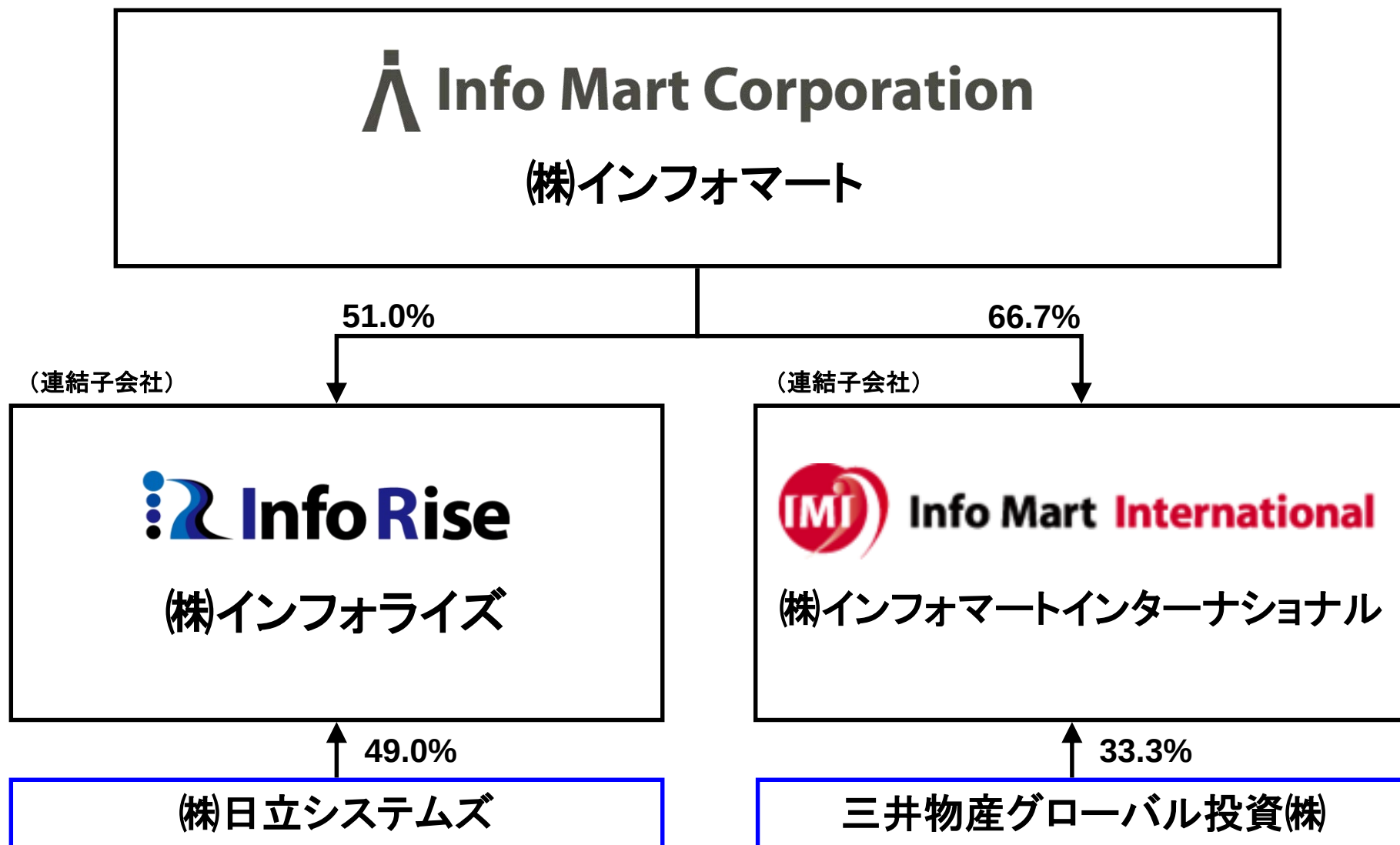
※1 商品取扱高(直営、テナント、メーカーEC支援事業)

※2 国内EC流通総額(ショッピングモール、オークション、その他取扱高)

※3 eコマース取扱高(ショッピング関連、オークション事業、その他取扱高)

また、アマゾン(国内直販のみ)、アスクル、モノタロウについては売上高を記載

■ インフォマートグループについて



3社6事業で事業を構成しています

社名	事業名
(株)インフォマート	ASP受発注事業
	ASP受注・営業事業
	ASP規格書事業
	ASP商談事業
(株)インフォライズ	クラウドサービス事業
(株)インフォマートインターナショナル	海外事業

経営方針・業績等の推移

業界標準化へ向けたフード業界BtoBの強化

「FOODS Info Mart」利用企業数36,000社超、システム取引高1兆円を目指す。

戦略子会社による2事業の黒字化

「クラウドサービス事業」、「海外事業」の利用企業数の増加を推進し、両事業を黒字化する。

他業界BtoBの展開

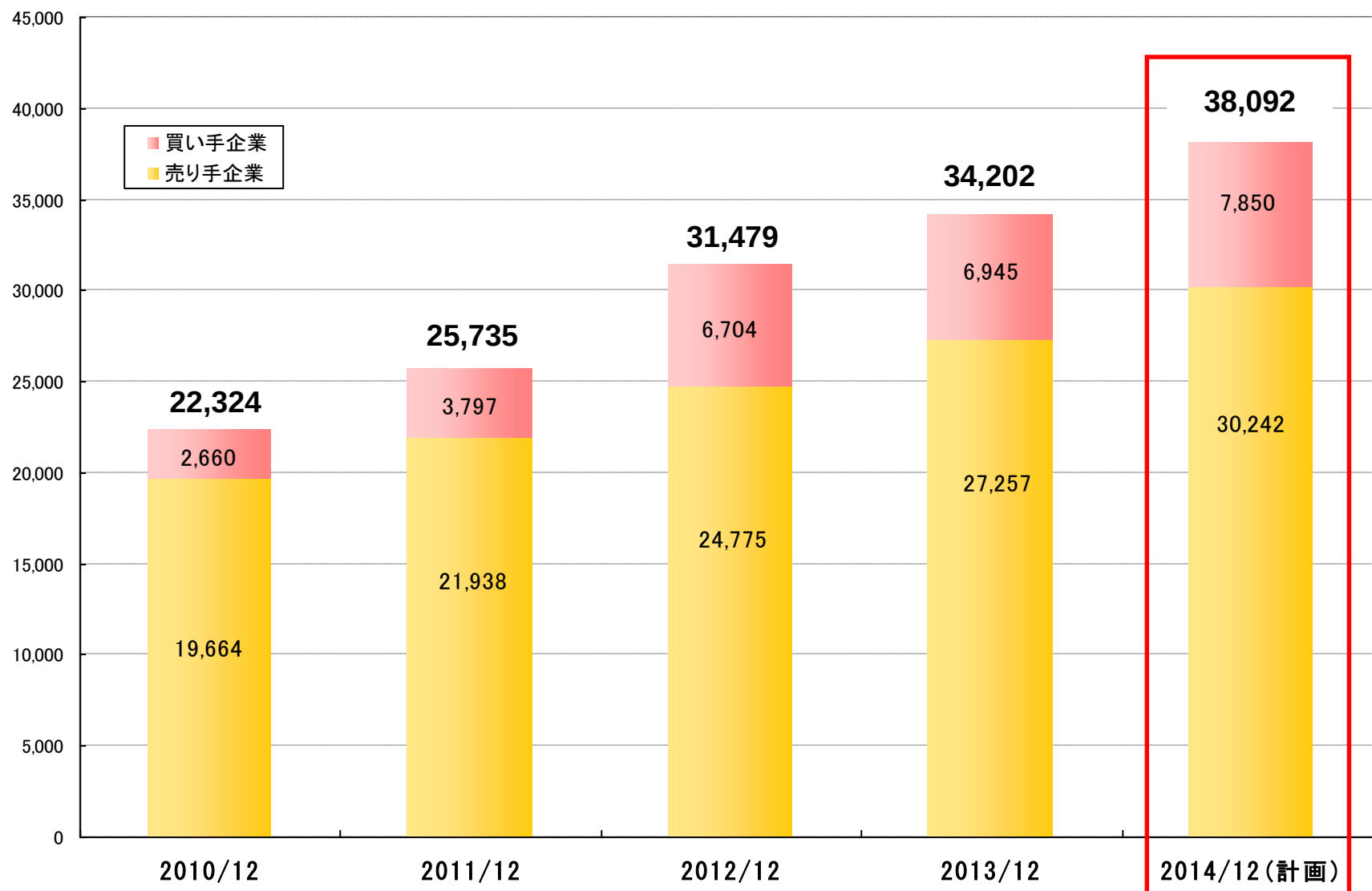
「BEAUTY Info Mart」、「MEDICAL Info Mart」を中心に他業界BtoBを展開し、各業界でのIT化に向けた仕組み作りを行う。

**「次世代プラットフォーム」である
BtoB & クラウドプラットフォームの構築と始動
テクノロジーを重視する経営戦略の起点とする。**

「FOODS Info Mart」 利用企業数の推移

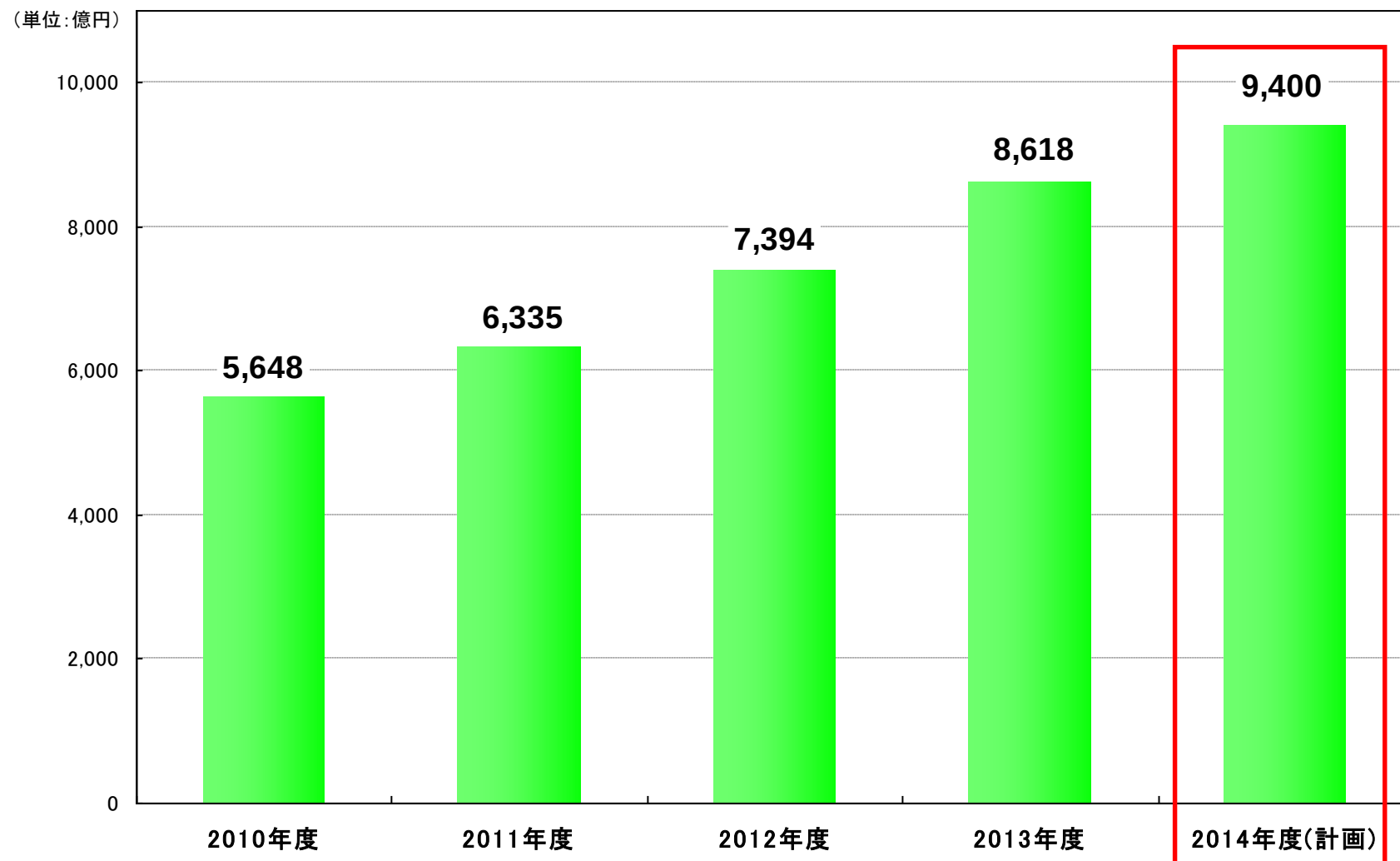
フード業界の標準プラットフォームへ向け利用企業数を拡大

(単位: 社)



「FOODS Info Mart」 システム取引高の推移

ASP受発注システム、ASP受注・営業システムで外食産業の市場シェアを拡大

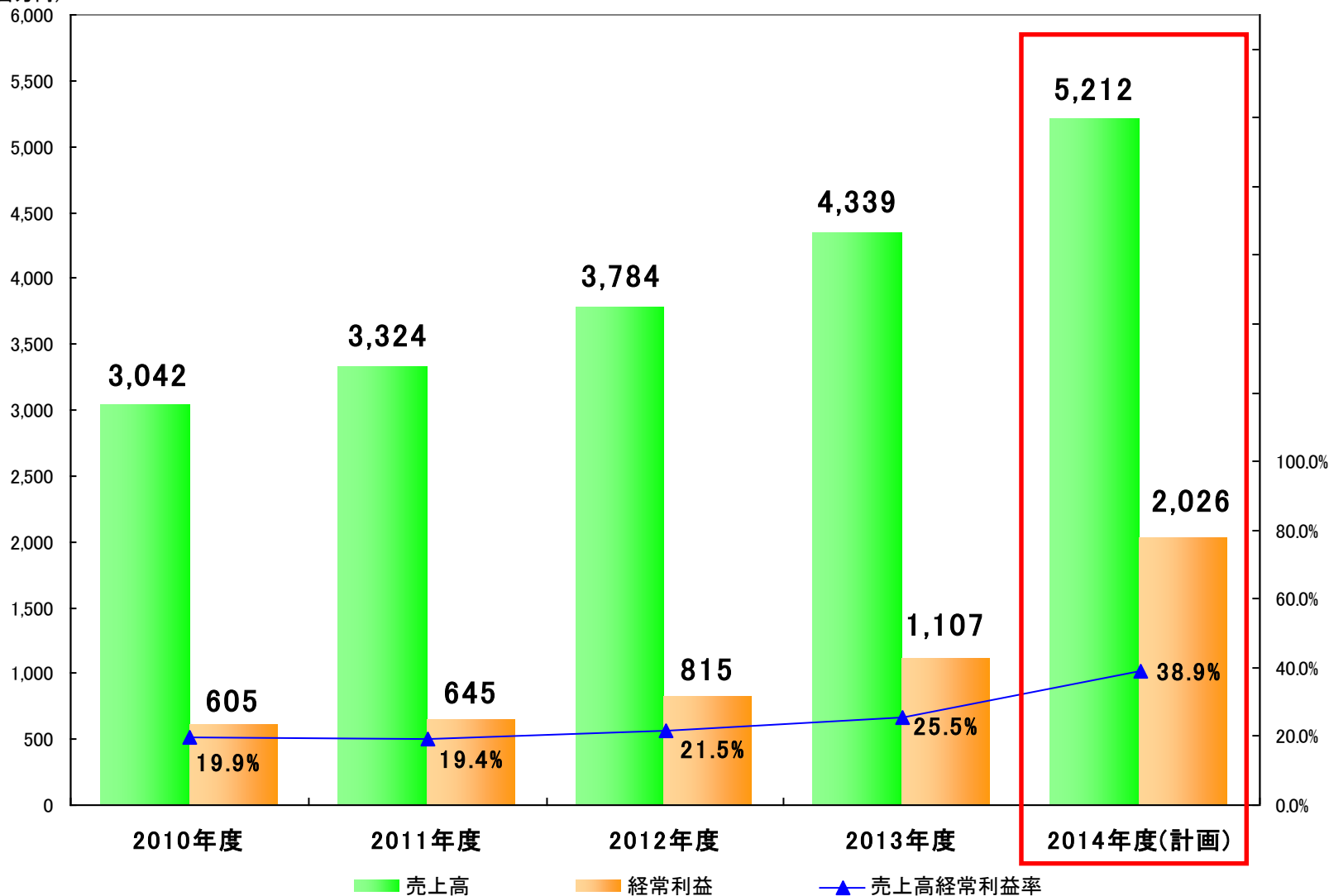


2012年外食産業市場規模、23兆2,386億円(外食産業総合調査研究センターデータより)から仕入金額を30%の前提で計算すると6兆9,715億円となり、当社2013年度取引高8,618億円は**12.4%**にあたります。(当社計算による)

業績の推移

売上高50億円超、経常利益20億円達成に向けて6事業の成長と収益性の向上に取り組めます

(単位: 百万円)



株主様への還元

株主様への利益還元について

当社は、株主の皆様への配当金が最も重要な還元と考え
経営成績の向上及び財務体質の強化を図りつつ、
「インフォマートの個別業績に基づく基本配当性向 50%」を配当の基本方針としています。

■ 1株当たり配当金

(単位:円)

	2013/12期 見込	2014/12期 当初予想
中間配当	10.56 (※1)	19.37
期末配当	10.57 (※2)	19.38
年間合計	21.13	38.75

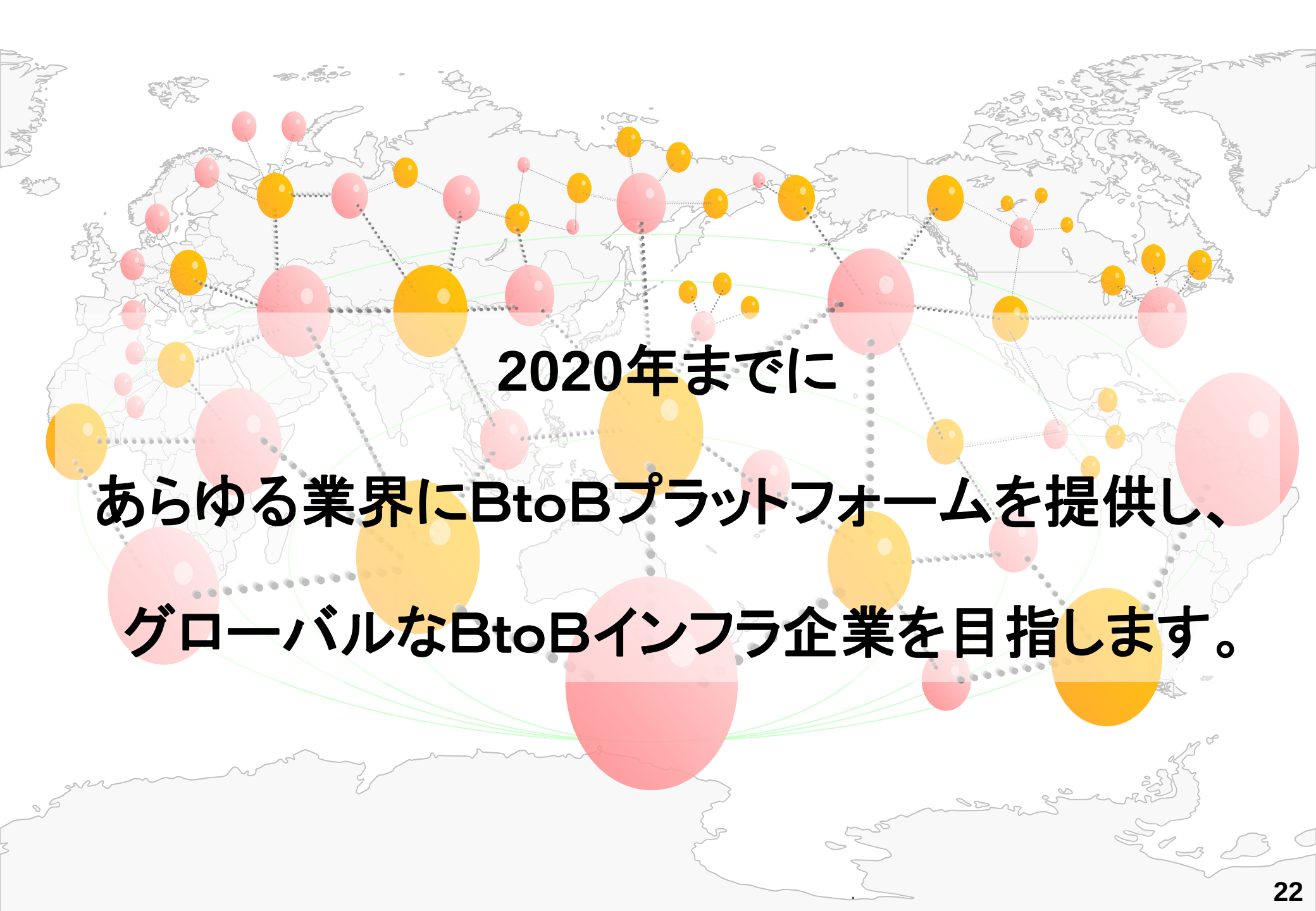
(単位:円)

2014/12期 今回予想
9.69
9.69
19.38

2014年1月1日
1株につき2株の
株式分割を実施

(※1) 2013年7月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っており、当該株式分割が行われたと仮定して記載しています。

(※2) 2014年3月27日開催予定の第16期定時株主総会に議案として付議いたします。(効力発生予定日 2014年3月28日)



**2020年までに
あらゆる業界にBtoBプラットフォームを提供し、
グローバルなBtoBインフラ企業を目指します。**

当資料に記載された内容は、2014年3月29日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により予告なしに変更される可能性があります。

投資に際しての最終的な判断は、お客様自身がなされるよう、お願いいたします。

本資料は株式会社インフォマートによって作成されたものです。